

イネヒメハモグリバエの発生と苗代における産卵防止および 防止時期

誌名	茨城県病害虫研究会報
ISSN	03862739
巻/号	1
掲載ページ	p. 9-10
発行年月	1961年6月

「イネヒメハモグリバエの発生と

苗代における産卵防止および防止時期」

岩 本 静 之

水稻の早期栽培，早植栽培の普及にともない，育苗時期が早くなつたためか，イネヒメハモグリバエの発生が年々増加している傾向があり，苗代末期から本田初期の主要害虫として見逃すことができない。この意味から，成虫の発生時期および，苗代における産卵防止を主とした場合のBHC粉剤の散布時期などについて試験や調査をしたので，その結果を報告する。

1. 試験方法

行方郡汐来町の常発地において，農ポリ平張りの保温折衷苗代（3月28日播種，4月11日除被）を用いて1区15平方米，2連制とし，除被後1週間ごとに1～2回BHC23.0%粉剤を10a当たり3kg散布し，5月4日に被害調査をおこなつた。また成虫の発生状況は予察事業の要項にしたがつた。

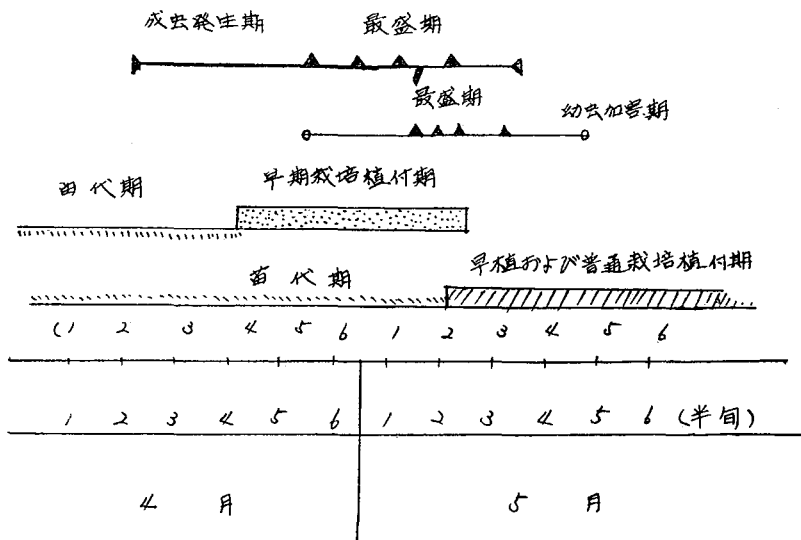
2. 発生および被害の概要

掘取調査によると成虫は4月上旬から苗代にあらわれ，4月下旬～5月上旬が発生最盛期で，とくに4月

第1表 4月～5月の平均気温（麻生）

	4 月			5 月		
	上	中	下	上	中	下
33 年	12.0	10.1	17.6	15.5	15.6	19.3
34 年	13.5	12.7	18.1	17.2	17.5	18.3
35 年	9.7	12.5	14.5	16.2	16.7	18.2

第1図 発生期と植付期



下旬～5月中旬が低温の年には成虫の発生量が多く，苗代末期～本田初期の被害がはなはだしい。

第2表 成虫の発生量と被害（麻生）

調査 月日	苗代期		本田期		苗代末期～本田 初期の被害		
	4月 22日	4月 30日	5月 10日	5月 21日	6月 6日	6月 14日	
33年	0.4	0.2	0.6	0.4	0	0	多
34年	0	0	0.3	0.2	0	0	少
35年	0.4	—	1.9	—	0.8	0.1	甚

(3.3平方米当り)

幼虫の被害は4月第5半旬から認められ，5月第1半旬～第3半旬が加害最盛期で，とくに湖河岸地帯では発生が多く，苗代末期の被害苗率が80%以上になり植付後の稲の生育におよぼす影響も大きく，はなはだしい場合には植換えることもある。

3. 発生期と植付期の関係

第1図のように成虫の発生期と植付期の関係から，ビニール畑苗代などによつて育苗され，5月第1半旬以前に植付けられる，いわゆる早期栽培のものでは，苗代よりも，むしろ本田植付後に多く産卵されるように思われ，植付期が5月第2半旬以降になる早植栽培や，普通栽培のものでは苗代期に多く産卵され，卵や幼虫が喰入した苗が本田へ移されることになる。

4. 防除時期

a) 産卵防止 植付期が5月第2半句以降になるものでは、苗代における産卵を防止し、被害の軽減をはかることができるが、薬剤散布の時期は第

3表からもわかるように、4月第5半句～第6半句が適期で、この時期に5～7日毎に2回位薬剤散布をすることによって、かなり高い防除効果が得られた。

第3表 BHC粉剤の散布時期と被害(苗代)

散布時期	回数	調査 苗数	総葉被	数害 苗数	被害 葉数	在虫 葉数	在 虫 数				被害 苗率	被 害 葉 率	苗 1 本 当 りの虫数
							生幼	死幼	生蛹	死蛹			
4月18日	1	124	663	110	183	111	120	0	0	0	88.7	27.6	1.0
4月25日	1	126	592	66	88	44	50	0	0	0	52.3	14.9	0.4
4月18日 25日	2	118	749	55	63	25	26	0	0	0	46.5	8.4	0.2
無 散 布	0	109	714	102	231	144	149	0	5	0	93.6	32.5	1.4

(床面中央部30cm平方内2ヶ所平均)

すなわち、除被後1週間目の4月18日に1回散布した区は、標準区に比較して被害率、在虫歩合に顕著な差がみられなかつたが、苗代末期にあたる4月25日1回散布区および、4月18日、25日の2回散布区は、いずれもあきらかな差がみられ産卵防止の効果が認められた。

b) 喰入幼虫の防除 第1図の関係から、苗代期よりも本田植付け後に多く産卵される傾向がある早期栽培のものでは、産卵防止よりも喰入幼虫を対象にして防除することが良策と思われる。

また、喰入幼虫は、前述のように5月第1半句～第3半句が加害最盛期であるから、防除もこの時期におこなうことが大切である。また幼虫期間も比較的短かいため、防除時期を逸しないように注意する必要がある。

以上のように、産卵防止を目的とした場合の防除時期は4月第5～第6半句で、喰入幼虫の防除適期は5月第1半句～第3半句間である。

(茨農試病虫部)